

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良くなっている				
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・月初めは固定客がほとんどであったが月末近くには多少新規の客が来店している。	
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・コマースの効果がペーカリーの売行きが好調で、来客数の増加につながっている。	
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・この時期は例年と同様に客からの飛び込み注文もあり、多少売上は伸びている。ただし、受注を検討している人の検討期間は相変わらず長くなっている。	
	変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・地域の飲食店の話では、5～6年前までは従業員が7人いたところが、今は1～2人で間に合うようになっているということである。
			一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・いろいろな商品が値上がりしている。客は考えて、売出しの時に目玉商品を購入し、あとはその時の必要な物しか買わない。変化は見られない。
			百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・販売商品の旗艦である婦人服、衣料品の売上が、依然低迷している。
			百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・宝飾品等の高額品の売上不振が顕著である。また、入進学、フレッシューズといったモチベーション商材の動きも想定量を下回っている状況である。日用食品等の必需品は比較的堅調であり、消費者の購買行動はより慎重になっている。
			スーパー（統括）	来客数の動き	・市街地にある店舗では来店回数が増え、客単価が低下している。一方、郊外店ではガソリン代が高騰していることもあいまって、来店回数が減り、客単価は上昇傾向にある。野菜などの小分け商品や惣菜、水産などの使い切りパックの伸びが顕著で、消費者の慎重な買物姿勢がうかがえる。
			スーパー（統括）	お客様の様子	・中国産冷凍ギョウザの件以来、低迷していた冷凍食品の売上がようやく戻りつつあるが、その他の商品についてはまだ厳しい。売場で原産国を確認する客が多い。価格差が大きいので客が葛藤しているように見受けられる。
			乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ガソリン高騰の影響なのか、普通車から軽自動車に乗り換えるユーザーが非常に多くなっている。この時期、車の購入を考える客も多いが、商談まで、販売に進まないケースが多い。
			住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・全般的に商品が値上がり傾向にあり、客が価格にとっても敏感になっているため、販売数の伸びが鈍い。
			スナック（経営者）	来客数の動き	・歓送迎会シーズンで、宴会の数は前年並みなのだが、フリーで飲み歩いている人の数が激減している。帰りの足もだいぶ早く、10時には飲んでいない人がほとんどいなくなるような状態である。
			観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・予約が間際化し、動きが読めないものの、結果的に前年同月とほぼ横ばいで推移している。
			都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・3月は水戸の梅まつりで若干客が増えたが、例年より集客は悪い。相変わらず競争が激しい状況である。
			都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3月に入り、卒業式のシーズンでパーティーや送別会など人の動きは多いほうだが、例年とほとんど変わらない状況である。
			旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・日帰り客の需要は高いが、来客数はあまり変わらない。
			タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず利用者の財布のひもは固い。余分な出費を控える傾向がますます顕著である。
			ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数は前年比でも大体横ばいで推移している。
			競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、購買単価共にそれほど変化が見られない。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	販売量の動き	・深夜帯の客が利用を切り上げる時間が少し早まっている。今までは朝5～6時前ごろまでかなり混みあっていたが、今は4時半くらいで客が切れ、利用時間がある程度短くなっている。	
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・2月に前倒して在庫した量が多かったため、3月は8%の減少となっている。徐々に市内の整備工場も減りつつあり、指定工場の減少がみられる。	

	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・家賃を相当下げた賃貸物件の引き合いはやはり多少増えてくる。まだ値下げ競争が続いているというのが現実である。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・例年なら1～3月は建売住宅が最も売れる時期であるが、今年度は契約後のキャンセルも何件もあり、厳しい結果に終わっている。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	競争相手の様子	・市内に郊外型の中規模ショッピングセンターがオープンした影響が顕著である。商店街では売場面積の広がったゲームセンターが倒産し、続いて2軒隣の時計店も閉店し、危機的な状態となっている。
	一般小売店[家電](経営者)	来客数の動き	・ガソリン問題等、不安定な社会情勢の中で、生活必需品への消費を考えてなのか、新製品が発売されようが特価広告を出そうが客はなびかない。新生活への消費動向もその場しのぎの安物へと向かっている。
	一般小売店[青果](店長)	お客様の様子	・安くても本当に必要な物しか買わないか、極端に安くなければ買わないという状況が続いている。
	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・当社では、例年3月に入るとダブルポイントのフェアがあるが、今年には行っていないので、客の出足が非常に悪くなっている。
	スーパー(販売促進担当)	販売量の動き	・全体的に売上が厳しいが、特に衣料品の下落が著しい。食品の客単価は前年並みであるのに対し、衣料品は1割強下がっている。買上点数についても同様の傾向である。昨年は早くから気温が上昇していたが、今年はなかなか上がらないこともあり、客が物価の上昇分をカバーするためにし好品に近い衣類の買い控えをしているようである。3か月前に比べ、この傾向は一層加速している感がある。
	コンビニ(店長)	来客数の動き	・来客数が減少しており、客単価も以前に比べ大分減ってきている。理由は特別分からないが、買い控えもあるかもしれない。例年、4月が近づくと上向くが、今年はそのもない。
	衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・今月は春らしい天候で比較的暖かく、特に春物ブラウス、セーターの動きが良い。客単価、一品単価も上昇したが、婦人服以外は低調で、全体の売上は前年割れしている。
	衣料品専門店(店長)	販売量の動き	・中旬以降にダイレクトメールによるセールを実施したが、売上高、集客数が前年比で30%減少している。
	乗用車販売店(従業員)	それ以外	・大型販売会社も含め、同業者が近隣で3社続けて倒産している。
	乗用車販売店(販売担当)	競争相手の様子	・何年か前に近隣地区で大手系の販売会社が2店舗閉鎖された。他人事と思っていたが、2月、3月と続けて同業者が2軒倒産し、閉鎖された。競争相手が減っているため、もう少し売れると思われたが、3月になっても販売量が少なく、競争相手も売れずに閉鎖してやめていくという状況であり、景気は悪い方向に向かっている。
	高級レストラン(店長)	来客数の動き	・原材料費、光熱費、原油価格とあらゆるものの値上がりにより、客の家計はかなり圧迫されており、来客数や来店頻度が低下している。
	都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・乳製品その他の値上げ等は、レストランでの日替わりランチなどの価格設定を抑えているものへの影響が特に大きい。4月から価格改定せざるを得ない状況である。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼の動き、夜の動き共に悪いので、前年同月比で2%の減収となっている。
ゴルフ場(支配人)	単価の動き	・寒さが和らいだ月でもあり、前年ほどではないが予約は安定しているが、客単価は依然として上がらない。キャディー付きより料金の安いセルフプレーの増加が顕著で、特に平日はセルフプレーの予約が多く、通常日はさほど伸びていない。	
美容室(経営者)	販売量の動き	・3月の売上はほぼ前年並みである。行事が多く、髪をきれいにしようと2月より来客数は良くなっているが、サービス券で値引きをする客が大半で、総売上が増えることはない。	
設計事務所(所長)	競争相手の様子	・今までも景気が悪いまま「変わらない」と回答してきたが、それよりもなお悪くなってきたように感じる。同業者の中では廃業し、他社へ勤務する者も出ていると聞いている。	

	悪く なっている	百貨店（総務担当）	単価の動き	・チラシの目玉商品全般、特に食料品、身の回り品、衣料品の超目玉品目当ての客が増加し、プロパー商品を購入する客がかなり減少している。
		コンビニ（店長）	競争相手の様子	・道路交通法が改正されて以来、競争相手は駐車場を広げ、来客数を増やしているが、当店はなかなか駐車場もままならないので、それが原因で悪くなっている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・年明け早々まずまずの出足であったが、2月は客の出足が相当悪く、3月上旬はそれなりに来客数があったが、10日過ぎ以降は2月と比較しても悪いというくらい客足が無かった。やはり原油高から始まって生活必需品までの価格高騰が相当打撃になっているようである。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・買上客数が、前年同月比で83%と大幅に前年を割っている。デジタル関連商品のテレビやDVDレコーダーなども販売単価が下がってきているため、売上を維持することは厳しい。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・客1人当たりの買上点数は、前年比で1月がマイナス0.02、2月がマイナス0.21、3月がマイナス0.1と減少している。やはり様々な資材価格の上昇が影響している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・寒さが影響したのか、ガソリンの値上がりによる車での出歩きを控えているのか、昼の個人客が極端に少ない。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・円高の影響で自動車関係の宿泊が減少し、各企業の宿泊旅費の引き締めで売上が減少している。
		タクシー運転手	それ以外	・今月は時期的に送別会などで利用客が増えることを期待していたが、タクシーを利用する客が少ない。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・本当に困ったことだが、ほとんど情報が入ってこない。実際、地方では新規の建築プロジェクトは激減している。
企業 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・周りの同業者はあまり良くないらしいが、当社は受注価格、販売価格の動き、相手先の様子と良い方向で大変忙しい状況が続いている。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・低価格の物から国産高級ワインに至るまで幅広く売上が落ち込んでいる。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は前年とほぼ同じか若干落ちてきている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・店頭売り商品の受注はある程度動きがあるが、特注品の見込みがない。
		金属製品製造業（経営者）	それ以外	・同業者の中でも我々一次請けのところは期末でもあり受注も好調だが、二次、三次では受注、収益共に相当悪化してきている。4月以降の原材料の高騰が特に厳しい。マスメディアの風評も設備投資に大いに影響してきている。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車、建設機械、油圧機器等、引き続き高水準の受注が続いている。また、新規案件の引き合いも活発である。
	やや悪く なっている	食料品製造業（製造担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格がますます高騰し、思うように利益は取れていない。むしろマイナス傾向にある。価格交渉しているが、売り方そのものを変えなければならないし、今までとは違うのだというところで話ができていない。また、売る側の利益確保をそれでも要求してくる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の通信機器の販売が芳しくなく、当社受注も下降気味に推移している。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今年は新生活関連の輸送が予定より落ち込み、物量の確保が厳しい状況である。また、燃料高による利益の薄い状況も続いている。
金融業（店長）		受注価格や販売価格の動き	・食品原材料の仕入価格の高騰による小売店への影響が大きい。輸入先現地の干ばつ及び新興国による消費量の増加のため、高騰している。来春まで値上がりは続くとの話もある。	

		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・タウン誌に広告を掲載している飲食店から、昨年当たりから広告の効果が下がっているという話を最近よく聞く。4～5年前であれば、広告掲載月は通常の2割増しくらいの集客があったが、今は通常と変わらないということである。広告の効果が無いというよりも、全体の来客数が減っているため、最近では混んで入れないという飲食店が減っている。
悪くなっている		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末の3月は猫の手も借りたいほど忙しくなると想定して年間休日、人員の配置等を計画したが大いに狂っている。工場の稼働が悪く、ここ数年では最悪の3月である。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新年度の原材料値上げを製品に転嫁できるかどうか、かなり厳しい状況にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、2、3月のピークの後、4月には受注残等の新規の仕事が出てくるが、今年は4月に全く話がなくて、かなり落ち込んでいる感がある。例年は新年度の予算でこれをやる、あれをやるというのがあるが全く見えてきていない。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・原油高に伴って原材料が大幅に高騰している。また、それに付随する関係の費用も上がっており、経費が急増しているということで、収益が全くついていない。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上が低迷したまま回復してきていない。1月以降、売上の前年割れが続いている。特に3月は1月と比較しても20%近く減少している。展示会でも高額品は全く売れず、苦戦続きである。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・公共工事主体の当社にとって、相変わらず安値競争の中でしか受注ができない状況が続いている。建設業をやめる会社が後を絶たない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は、休刊日の関係で昨年より1日多いにもかかわらず86.5%で、昨年7月以来9か月連続で前年実績を下回っている。この状況に「金を使って広告を出しても効果が期待できない」と話す広告主もいる。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔専門学校〕（副校長）	雇用形態の様子	・学生の新規採用が例年になく良くなっている。また、コンピュータ系など技術者が不足している職場での採用時期が早まっており、将来を見渡した経営がされているように見受けられる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・現在150店舗あるアウトレットが20店舗増えるということで、今月末には募集広告が出て、来月から面接に入る。7月当たりの開店が目立つ。ホームセンターの募集広告も出ており、今までは雇用がやや停滞していたが、ここから少し人の動きが出てくる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・中途採用の求人広告件数が減少している。また、3か月前と比べ、正社員募集も減少傾向が続いている。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・09年度採用活動が本格化し、更に前倒して活動している企業が増えている。実質上学生の意識や準備の伴わない状況もあり、求人数は高水準を維持しているものの、職種間の格差や厳選は変わらないため、苦戦している学生も多い。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月を約10%下回っており、有効求人数は約20%下回っている。景気低迷感が強まるなかで、模様眺めの状況にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が6か月ぶりに前年同月比で増加となったが、増加幅が小さく、回復基調に転じたとは言えない状況である。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・円高、原材料の高騰から、先行き不安な動きが目立ち始め、身軽なソフトウェア産業においては反応が早く、求人を凍結する企業が目立ってきている。
	悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・今十数社と人材派遣の付き合いをしているが、忙しい会社がほとんど無い。売上も下がって大変困っている。